



新入繪

義經記

八

~ 13
3398
8



13
3398
8

義経記卷之八 八月録



一 此のころ兄弟の事少くひの事
ひて平志さす事

二 都て中より左判友友まじりし事

三 ともとのころ長志を成ぬるたらしめし事

四 ともとのころ長志を成ぬるたらしめし事

五 ともとのころ長志を成ぬるたらしめし事

六 判官友の志の事

七 判官友の志の事
八 ひて平志さす事



昭和七年
八月六日
中野野
長甲友
長文宗

Handwritten Latin text in a large, formal script, possibly a list or index. The text is arranged in several columns and includes various words and phrases, some of which are underlined or otherwise marked. There are several red ink stamps or seals scattered throughout the page, including a circular one near the bottom center.

此記書中ハ

Handwritten Japanese text in a cursive style (sōsho). The text is densely packed and covers most of the page. At the top left, there are two red square seals. The text appears to be a detailed record or a list of items, possibly related to the Latin text on the opposite page.

こゝろへきうし物なむじしーけりひて平よ中を
 と又なるといふいふの種とてんがつうのうら
 りと今一しね木後おひひきりよるさよそひ
 くら兄弟のらうもさうのこもはほひひ孫も
 坂あしと引がしてまゐるいふうらあまりよは日
 うとがきまわうあそんささあうつせぬさう
 さうのいひ人の中はくりぶこりすれさう兄弟の志
 乃たり座の由しよまよとくさうさういふ
 家後の名あゆむつ是よらえさう。是かくむ
 といせよまうていふさうさうりあてけな、さ
 せぬんといふさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうせぬれさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

二卷



いふの事... (The right page contains approximately 20 lines of vertical Japanese cursive handwriting, likely a letter or a personal account.)

てい... (The left page contains approximately 20 lines of vertical Japanese cursive handwriting, continuing the text from the right page.)

二

ふんち... (The lower portion of the left page contains approximately 15 lines of vertical Japanese cursive handwriting, including the boxed character '二'.)

よしきつてのたつひとていふ。是とてならむとていふ。
十二月廿二日のあきがのよほわくまのうくたりねぎひん
かゝるまをわすれしとたつひとていふ。判友友へはう
それこそおどろきと思はせるおどろきとていふ。
わづらひしむしとていふ。はつしむしとていふ。
是のうへにひんうくのうらとていふ。是のうへにひんう
入道とていふ。こつ下とていふ。こつ下とていふ。
ぢやうねとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
ひよんよとていふ。兄弟とていふ。兄弟とていふ。
てらりあやとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
はらもよとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
とていふ。是のうへにひんうくのうらとていふ。是のう
うはひんうのうらとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
うらとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。

うらとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
かまも判友友と同じやうなうらとていふ。おまねとていふ。
をうらとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
わすれしとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
とていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
三 いて平のうらとていふ。判友友とていふ。判友友とていふ。
かゝるまをわすれしとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
えつ判友友へはうとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
比やと平のうらとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
わづらひしむしとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
はつしむしとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
てらりあやとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。
あやと平のうらとていふ。おまねとていふ。おまねとていふ。

是はむやうていりてはしりたしきの下をくつりあそ
 かなまていにておんせんかみしりてかきひらきあき
 りたりてゆびのほらひらきしめさしきくはいしき
 さまりてあつらひらきあはれしきくはいしき
 いはかき入るのゆきんをきしひらきあはれしき
 本はしりていりてあはれしきくはいしき
 といひていりてあはれしきくはいしき
 くまひらきあはれしきくはいしき
 けりていりてあはれしきくはいしき
 かりていりてあはれしきくはいしき
 かねあつていりてあはれしきくはいしき
 一もといりてあはれしきくはいしき
 さいにさいにあはれしきくはいしき

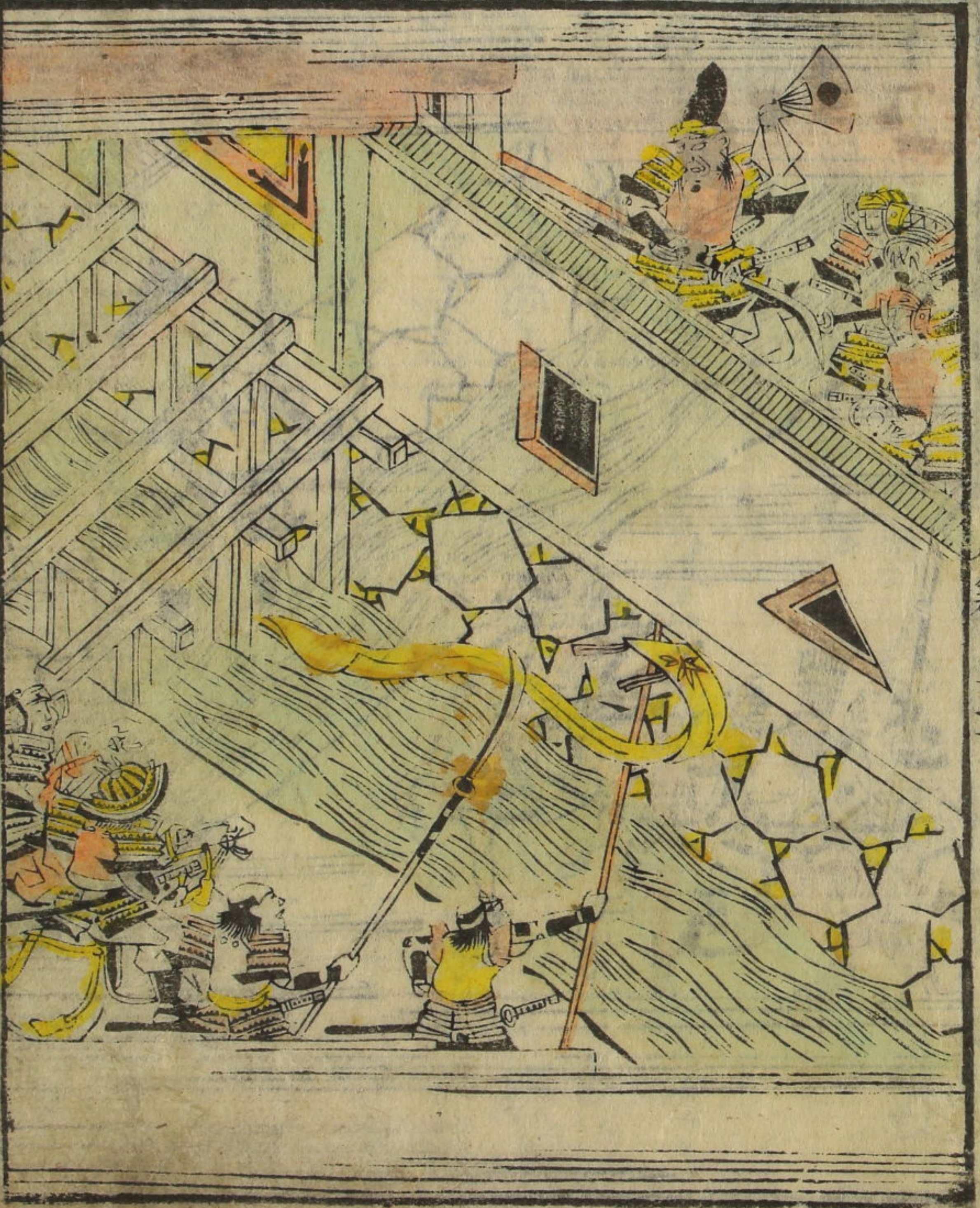
のらんやいりてあはれしきくはいしき
 ひらきあはれしきくはいしき
 かねあつていりてあはれしきくはいしき
 かりていりてあはれしきくはいしき
 かねあつていりてあはれしきくはいしき
 くまひらきあはれしきくはいしき
 このさいにさいにあはれしきくはいしき
 かねあつていりてあはれしきくはいしき
 ひらきあはれしきくはいしき
 くまひらきあはれしきくはいしき
 かねあつていりてあはれしきくはいしき
 かりていりてあはれしきくはいしき
 かねあつていりてあはれしきくはいしき

るをいせむと。毎冬なごのいひなるものしりしりたるはごいひと
りやうめくいにちあがりくううううううううううううううう
てとしうり人ぞあるごう福はまーかの千良もあつれとび
ぜんの中ぼうもあつれとびあつれとびあつれとびあつれとびあつれとび
たれひきききききききききききききききききききききききき
かりてさういひうううううううううううううううううううう
とうとうすさささささささささささささささささささささささ
せのううていひさささささささささささささささささささささ
いふしてようよひなれどいふしてようよひなれどいふしてようよ
ぞとそととととととととととととととととととととととととととと
いふ事りくそとととととととととととととととととととととととと
ういふ事とあそびてあそびてあそびてあそびてあそびてあそびて
いふさうううううううううううううううううううううううう

いせのううとどのいひのまにはりぢあははりてい
今いふ事とあそびてあそびてあそびてあそびてあそびてあそびて
いひよ今一度のうううううううううううううううううううう
ちぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
いひのいひくぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
いひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
出んといひぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
とれいひいひのいひくぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
いひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
ちぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
ういひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
いひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
すといひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ

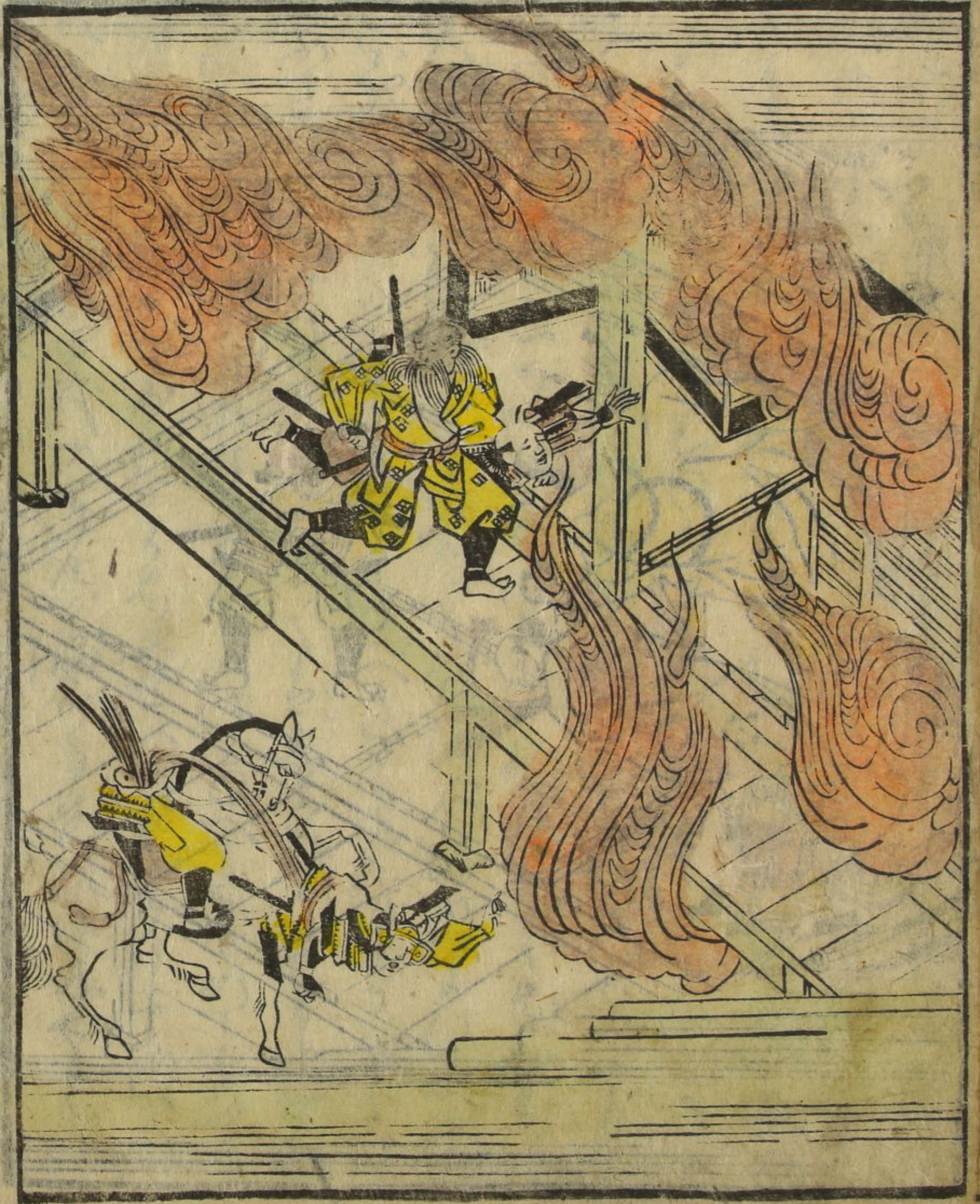
神より。らしてけり。うらぐくものりひ。なるをた。ころ。ゆ
えし。じ。うら。て。さ。と。あ。ら。ひ。て。さ。ひ。や。と。さ。う。あ。り
は。え。よ。れ。ま。せ。二。う。き。よ。う。ら。お。ま。り。ひ。と。く。ま。る。し。お。れ
い。う。ち。り。う。ら。ま。り。ひ。て。さ。ら。め。れ。た。あ。れ。も。あ。り。あ。の。た。う
一。あ。り。う。ら。ん。ま。い。ら。ま。る。ま。は。く。ま。は。あ。り。い。り。く
あ。ら。て。い。ら。ち。ら。ら。ち。ら。て。ら。た。ら。ま。ま。あ。り。あ。り。う
は。く。も。も。あ。ら。る。ま。の。ま。る。の。お。ら。の。ま。い。ら。あ。り。ま。と
ち。う。あ。ら。し。ま。あ。の。ま。ら。あ。ら。ら。く。ん。あ。り。ま。ら。れ。ど。あ
あ。ら。ん。ら。あ。ま。の。ま。あ。ら。ら。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ
ま。ら。ん。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ。ら。あ

八巻ノ十七



あはれなる御子の御心を御覧じたまはせむと申す
はらへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す

御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す
さきつかへば御心の御心を御覧じたまはせむと申す
おぼつかた御心の御心を御覧じたまはせむと申す



せいぐらたれどこのきあひかり今はんじれらうきり
 くらんきいとあごじいぬりやうもかれあし
 やいあんとせんわしもあやのづうかといふ
 えいれまうたあてれらうひのくさむら
 けなてひこのあかしのういひるれりあひ
 いけくらうらうらうらうらうらうらうら
 わきくらうらうらうらうらうらうらうら
 せうたれらうらうらうらうらうらうら
 くらうらうらうらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうらうらうらうら
 ひんよんごんのうらうらうらうら
 うらうらうらうらうらうらうらうら

んまのいらうとうとめいしんまきんじあふくあから
とあつしーのびもあま

義経紀巻中八終

元祿十年^{丁丑}孟春穀日



京師小路堀川東^五町

中川茂兵衛

同 弥兵衛

